

あつぎ市議会だより

第236号 発行日/平成29年8月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700



毎週水曜日に荻野運動公園で開催される夕焼け市。市内で生産される農畜産物や食料品が販売される（今年は10月25日まで）

6月定例会議

一般教育・危機管理・庁舎建設などを論議

広報広聴特別委員会が調査・研究の状況を報告

6月定例会議は、5月30日から6月21日までの会議期間23日間で開催されました。

市長から初日に提出された議案は、固定資産評価審査委員会委員の選任や固定資産評価員の選任のほか、人権擁護委員の候補者の推薦、一般会計補正予算の6議案です。このうち、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について（3件）」を除いた1議案は質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員22人が登壇し、一般質問が行われました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について（3件）」に対する質疑が行われ、採決の結果、同意しました。その後、各常任委員長からの審査結果報告、4会派などによる討論が行われ、採決の結果、可決しました。

さらに、議員から「神奈川県最低賃金改定等に関する意見書について」の議案1件が追加提出され、可決しました。

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、（仮称）金田老人憩の家・児童館複合施設の建設予定地において、文化財保護法に基づき埋蔵文化財の本調査が必要になったことから、（仮称）金田老人憩の家等複合施設建設事業費および（仮称）金田児童館等複合施設建設事業費の増額や、合併処理浄化槽への転換に係る本体工事および付帯工事について、新たに県支出金などの交付対象となったことから、合併処理浄化槽整備事業補助金を増額するものです。このほか、コミュニティ推進事業助成金を活用し、厚木市さくら狩りマップをリニューアルするため、観光情報発信事業費の増額や、郷土芸能を行う団体に対して、用具整備に係る経費の一部を補助するため、郷土芸能コミュニティ事業補助金を措置するものです。

補正後の予算額、既定

全国市議会議長会

在職25年の 特別表彰 —松田則康議員—

5月24日、東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会まつだのりやす松田則康議員（あつぎみらい）が議員在職25年として、全国市議会議長会会長から特別表彰されました。

の歳入歳出予算に対する増減額（カッコ内）は次のとおりです。

◇一般会計＝808億5537万4千円（5537万4千円増）

固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員3人のうち、高橋宏氏（愛甲）の任期が満了することに伴い、引き続き同氏を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

固定資産評価員の選任に同意

固定資産評価員に澁谷岳史市財務部長を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

人権擁護委員3氏の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、3人の任期が満了することに伴い、横浜地方

議員提出議案

可決した議員提出議案は、国会や関係行政庁に意見書を提出することを求める1件です。

「神奈川県最低賃金改定等に関する意見書」は、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うことや、最低賃金引き上げに伴う中小企業などへの支援を強化することなどを要望するものです（意見書は4面参照）。

主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆国などに提出した意見書 4面
- ◆委員会の審査 7面
- ◆広報広聴特別委員会の報告 7面
- ◆本会議の審議結果 8面



今定例会議では、22人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたえました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

防災対策の情報発信の 手段と課題は

あつぎみらい 高橋 豊 議員



問 全国瞬時警報システム(J-ALERT)の概要と運用時の具体例は。

答 市長室長 国からの緊急情報を、防災行政無線により市民の方に瞬時に伝えるシステムである。具体的には、緊急地震速報、大雨特別警報、弾道ミサイル発射情報、ゲリラ・テロ情報などである。

問 防災ラジオを高齢者に貸与する考えは。

答 市長室長 昨年度から有償配布しており、その中にも高齢者が含まれていると思うので、その観点から無償貸与は現在考えていない。

問 防災行政無線の内容が聞けるテレホンサービスを無料化する考えは。

答 市長室長 現行のシステムでは、約2千本が同時に着信できるが、フリーダイヤルでは、30本ぐらいしか同時に入らない。災害時の回線状況を考慮して現行システムを採用している。今後、さまざまな情報ツールが開発されると思うので、注目しながら対応したいと思っている。

●市庁舎内の職場環境

問 職員の机上の整理状況は。

答 市長 庁内文書は、厚木市行政文書取扱規程により、適切に管理している。また、個人情報文書は、整理整頓に努め、厚木市個人情報保護条例により、慎重に取り扱っている。

市街化調整区域内の公共下水道(汚水)の事業化の考えは

無党派 井上 敏夫 議員



問 事業着手に向けての根拠と課題は。

答 市長 良好な河川環境の保全や生活環境を改善する目的で進めている。今後は人口減少などの社会情勢の中、効率的な汚水処理方法の見極めや整備のための財源確保が必要と認識している。

問 都市整備部長 単独処理浄化槽が多い状況から事業を推進したい。

●道路・水路の適正管理

問 水路にふたをかける場合の管理は。

答 都市整備部長 水路が道路形状であっても不特定多数の方が通行できる場合は、占用許可な

東京オリンピック・パラリンピックの機会をどう生かすか

無党派 奈良 握 議員



問 オリンピック憲章に掲げられた精神をどのように具現化するのか。

答 市長 オリンピズムの根本原則には、スポーツと文化、教育との融合や平和な社会の推進、友情、連帯、フェアプレー精神などが掲げられている。本市では、東京オリンピック・パラリンピック支援に向けた基本方針に基づき、積極的に事業を推進することで、次代を担う子どもたちの夢と希望を育み、差別のない平和な社会の構築に寄与していきたい。

問 LGBT(性的少数者)などの人権に係る課題について取り組みは。

答 市長 オリンピック憲章では、権利および自由は、人種、性別、性的志向、言語、宗教、そ



事故の恐ろしさや交通ルールの大切さを実感してもらうため、中学生を対象にプロのスタントマンが事故を再現するスケアードストリート教育技法による自転車安全教室を実施している

どは取っていない。また、水路機能の保全などに支障を及ぼさない限り、道路認定は行っていない。

問 道路境界の基準は。

答 道路部長 幹線道路はのり面上で、生活道路はのり面下をそれぞれ境界としている。

●農地転用した土地の評価

問 チラシなどで周知する考えは。

答 財務部長 分かりやすい周知は必要と考えている。

問 重要な課題と認識しており、引き続きあらゆる人権の尊重に向けた取り組みに努めたい。

●自転車事故の防止

問 事故多発箇所の状況は。

答 協働安全部長 人身事故の多い交差点で自転車事故も多く、平成28年度では、文化会館前交

答 農業委員会事務局 長 財務部が作成するチラシなどで対応する。

●学校と保護者の関係

問 保護者の信頼を得るための取り組みは。

答 学校教育部長 直接、保護者や地域の方々に学校に来ていただく機会を設けるなど、学校側も努力する。



差点で3件、水引交差点と妻田伝田交差点で1件ずつ、合計5件発生している。



特別支援学校など卒業後の進路状況の把握は

あつぎみらい 沼田 幸一 議員



問 進路状況をどのように把握しているか。

答 市長 福祉サービスを利用される方のみ把握している。

問 進路先が合わない場合に支援が必要では。

答 福祉部長 本人の希望を踏まえ、障がい者相談支援センターなどと連携し、再度実習を行っていたり、できる限り努力している。

●障害者優先調達推進法

問 平成28年度の調達実績は。

答 福祉部長 総合福祉センターの清掃業務委託などを含め、調達実績は485万円強となった。

●厚木市斎場

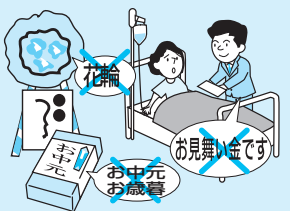
問 現状と今後の方向性は。

答 市民健康部長 年々利用者は増えており、28年度の式場の稼働率は78%になっている。今後、炉の増設が33年ごろに必要になるが、炉の時間枠を拡大する対処法を含め

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。また、有権者が寄付を求めることも禁止されています。次のことは違反になります。

- ◆落成式・開店祝、葬式などの花輪・供花
- ◆入学祝・卒業祝、お中元やお歳暮、病気見舞い
- ◆地域のお祭りへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などが代理で出席する場合の結婚祝、葬式の香典
- ◆町内会の集会や旅行などの催し物への寸志や飲食物の差し入れ



次期厚木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の立て方は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 65歳以上の高齢者の認知症患者数は462万人で、65歳以上の7人に1人だが、2025年には700万人で、5人に1人と見込まれる。また、施設があっても利用料が高く、入れない人がある。地域で支え切れない、在宅でも難しい現実を反映させた次期厚木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にすべきと考えるが、いかがか。

●国民健康保険事業
問 平成30年度の都道府県単位化により、これまでの厚木市独自で行ってきた保険料の設定や減免はどうなるのか。

答 市長 被保険者への影響が生じないよう、遅滞なく準備を進める。

問 現在、厚木市の保険料は神奈川県が試算したものよりもかなり低いが、どのように解消していくのか。

答 市民健康部長 試算しなければ保険料がどのくらいになるかは分からないが、厚木市としては、同じくらいの保険料になるように対応していければと考えている。

ホームページの議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報をご覧になれます。

- ◆インターネット議会中継
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録(本会議・常任委員会など)委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他
議員名簿、議会データ、一般質問通告一覧、子どものページ、議長交際費など。



中心市街地における公共施設についての考え方は

日本共産党 釘丸 久子議員



問 厚木市公共施設最適化検討委員会の庁舎再編に関する提言書が提出された。提言では、中町第2・2地区が市役所の建て替え候補地の一つとされている。また、整備予定の複合施設に市庁舎や国、県の施設が入るか否かで施設の在り方に影響が出るが、見解は。

答 市長 検討組織を設置し、庁内でも引き続き検討する。広く市民や議会の意見を伺い、基本的な考え方をまとめる。

答 政策部長 専門家の関係団体、公募市民で構成する。また、庁内の検討組織は部長職、課長職、担当者の3層構造とし、今年度中に基本的な考え方をまとめていく。

問 提言では、国や県の施設との合築が必要としている。協議の状況は。

答 政策部長 国、県の担当者とは打ち合わせ協議を行っており、複合化

小中学校での集金のキャッシュレス化を進める考えは

民進党 望月 真実議員



問 クレジットカードや電子マネーなど、非現金を利用する方が増えている。支払いに導入する考えはあるか。

答 学校教育部長 現金を子どもが持ち歩いて学校に届けることを回避するため、クレジットカードや電子マネーが活用できればという考えも

保育所待機児童ゼロへの取り組みは

無党派 山本 智子議員



問 現在の進捗状況は。

答 こども未来部長 認可保育所については待機児童の多い地区を対象に、小規模保育施設についてはゼロ歳から2歳児の待機児童が多い市内全域を対象に、整備を進めていく。おおむねの積算で、今年度中には200人を超える定員増を見込めるのではないかと考えている。

問 今後の入所希望者の増加はどの程度か。

答 こども未来部長 おおむねで500人から1千人で推移すると考えている。

問 小規模保育施設を活用することの課題は。

答 こども未来部長 保育の質が低下しないよ

ドレス)を添付して配信できないか。

答 教育総務部長 保護者宛てメールマガジンは、主に緊急時の情報伝達用に運用されており、利用目的の見直しが必要となる。また、その有効性や教職員の負担なども含めて考えていく。

小中学校からの配布物のペーパーレス化

問 各学校のホームページから、配布文書を閲覧できないか。

答 教育総務部長 一部実施している学校もあるが、今後、各学校と連携して研究していきたい。

問 学校からのメールマガジンに、配布文書のURL(ホームページア

児童館での飲食

問 夏季休業中の限定した期間でもできないか。

答 こども未来部長 熱中症予防に水筒を持参することは勧められているが、弁当などは食中毒やアレルギーの子への見守りなど課題が多く、難しい。お菓子づくりなど、違う形で食材の提供が可能か研究していきたい。

厚木市国民健康保険データヘルス計画の成果は

公明党 寺岡 まゆみ議員



問 糖尿病性腎症重症化予防事業の成果は。

答 市民健康部長 平成28年度は、モデル医療機関として厚木市立病院の協力で8人の患者に対し、面談、電話による食事指導、運動指導、服薬管理などを実施し、全ての患者に改善が見られた。

問 生活習慣病治療中断者への受診勧奨の実績と課題は。

答 市民健康部長 治療中断者198人に通知および電話の勧奨を行い、89人が治療を再開した。今後、さらに多くの方に

広報広聴 特別委員会から

厚木市議会では、議会報告会を取り組んでから5年。年2回実施し、延べ34会場に1266人の参加をいただきました。最初は議会報告が中心で固い内容でしたが、パワーポイントの活用や団体との意見交換会など、試行錯誤を繰り返してまいりました。

第5回からは、常任委員会運営し、地域問題や常任委員会に係るテーマを取り上げるなど進化・発展が

参加された市民や各団体の皆さまに心より感謝いたします。(釘丸久子)

答 市長室長 現在、哺乳瓶に関しては、備蓄している量で想定数を充足していると考えているが、さまざまな被災状況になると思うので、使い捨ての哺乳瓶も必要

な物品の一つとして考えていきたい。

●重度障害児メディカルシヨートステイ事業
問 対象者を拡大するための条件と課題は。

答 病院事業局長 急性期医療が必要でない重度障がい者を受け入れることについては、厚木市立病院の役割や看護体制の在り方も踏まえ、検討する必要があるものと考えている。

●新たな防災備蓄品の充実
問 断水時で哺乳瓶が洗浄できない場合を想定して、使い捨ての哺乳ボ

会議録の閲覧を！

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録がでるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧になれます。

安心安全な自転車利用に向けての取り組みは

公明党 遠藤 浩一 議員



問 道路交通法改正に伴う、安全で快適な自転車利用環境創出ガイドラインの改定を踏まえての取り組みは。

答 市長 市内全域を

対象とした自転車ネットワーク構築に向けて計画を策定し、安全で快適な自転車利用環境の創出を図っていく。

●多面的機能を有する農地

問 防災協力農地の制度化に向けての進捗は。

答 鳥井理事 関係機関や関係部局とともに検討を進めてきたところ、制度化することができた。既に防災協力農地として登録していただいた農地

厚木市の森林整備について現状と今後の方向性は

あつぎみらい 瀧口 慎太郎 議員



問 本市の森林の現状と整備の進捗状況は。

答 鳥井理事 本市の森林は、約2600ヘクタール。これまでに約430ヘクタールを整備し、今後は元気な森づくり整備計画に基づき、5年間で約420ヘクタールの整備を予定している。

問 森林整備の課題は。

答 鳥井理事 林齢の高齢化による二酸化炭素吸収量の減少、林業就業者の減少や高齢化がある。

公文書館を整備する考えはあるか

改革あつぎ 井上 武 議員



問 公文書館を整備している市などもあるが、

歴史的文書の保存、活用、に公文書館を造る考えはあるか。

答 総務部長 施設整備のほかに、専門職の配置

が必要であり、コスト面などの問題から規模の大きい自治体以外では余りの地域包括ケア社会だと思ふ。その実現に向けて、障害および障がい者への理解の推進にこれからも

尽力していきたいと考えている。



ついでに検討は。

答 教育長 本年9月には、部活動の適切な在り方を検討する委員会を立ち上げる計画である。

問 部活動の設置基準

は。
答 教育長 学習指導要領に基づき、各学校が実態に応じ設置している。

問 外部指導員登用の

現状は。

答 教育長 平成28年度は延べ82人の指導協力者を派遣しており、今年度も全ての中学校の要望に応じ派遣している。



公共施設がある場合、避難できるか。

答 市長室長 実際に

大きな災害が起きたときに避難生活を送る場所としては、市内に48カ所ある指定避難所が最も有効な場所である。地域防災計画で避難所を指定する意味は、安否確認や食料、物資の供給体制を十分に機能させるためにある。

風水害で早期に避難される際には、公民館など緊急避難場所に身を寄せていただきたい。

一般質問

主な質問と答弁



荻野地区の観光資源の今後の展望は

あつぎみらい 松本 樹影 議員



問 鳶尾山ハイキングコースや鳶尾山に連なる

愛川町の八菅山、飯山温泉などがホームページに観光スポットとして多数取り上げられている。愛川町とのさらなる連携に

取り組み、有用な観光資源を市内外に発信してほ

しい。今後の展望は。

答 市長 今後は市内

他地区や愛川町との連携を深め、相互の観光資源を結び、回遊性を高めた観光振興を図る。

病院特別委員会

6月定例会議終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院の整備状況などについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 全ての工事が終わった後、第2・第3駐車場と臨時駐車場はどうなるのか。

答 臨時駐車場は、神奈川県土地を借りている状況であり、工事が全て終わった段階で返却する予定である。

また、第2・第3駐車場は、病院が所有している部分と一部借用している部分がある。病院の所有部分は使用するが、借用している部分は患者や車の状況により、検討していこうかと考えている。

問 インシデント・アクシデントの件数が、平成27年度から28年度にかけて大きく減っているが、検査の項目だけ一つ増えている。要因を把握しているか。

答 件数は、27年度の1,519件から28年度の1,161件と、だいぶ減っている。当初は新病院になり、施設環境がだいぶ変わるので、増えるのではないかと想定していたが、逆に職員がそういったリスクを感じ取る機会になり、そういう部分を配慮してきたことで、全体的に件数が減少したのではないかと考える。増えた部分については、検査科で以前は身体に影響がないものを入れていなかったが、入れる取り組みをしたことで増えた。

夏季休業中のお盆時期に小中学校の完全休業はできないか

新政あつぎ 新井 啓司 議員



問 お盆の前後1週間を目安に、研修などの公務出張を入れない取り組みが進められてきた経過があるが、その延長線上として小中学校の完全休業はできないか。

答 教育総務部長 教

職員が年休を一段と取りやすくなる状況は理解できている。

●有機農業の推進

問 本年度策定する都市農業振興計画では、有機農業の普及啓発について、どのような位置付けで触れることができるか。

答 鳥井理事 有機農

業の重要性は十分認識している。有機農業を推進するためには、農業者が

●スクールアシスタントの職務内容の拡大

問 水泳指導の際、

取り組みやすい栽培技術の確立、農業者への普及指導の強化と支援、消費者の理解と関心を深めていくことなどが必要となるため、策定作業の中で十分検討していきたい。

答 鳥井理事 有

機農業の重要性は十分認識している。有機農業を推進するためには、農業者が



プールサイドの監視業務に派遣できないか。
答 教育総務部長 監視の目を増やすという補助的な役割としての実施は可能であるが、契約や法的な面からの確認を行うとともに、他の手だても含めて考えていきたい。
●(仮称)あつぎ郷土資料館に向けたビジョン
問 一番の売りは。
答 社会教育部長 新たな施設では、他の博物館などから資料を借用できるよう、展示ケースの一部を気密性の高い、湿度を一定に保てる高機能空調機器であるエアタイト型ケースを導入する。文化庁などの助言の結果、こうした展示ケースを導入して何年かモニタリングを行うことにより、将来、国の重要文化財などを展示できることを目標にしている。



委員会の 審査

補正予算・請願

—主な質疑と答弁—

補正予算の議案や請願について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

環境教育

問 今回の複合施設は、コミュニティ施設が不足している金田地区南部の中央に位置し、公園と一体となった運営ができる用地を選定した。

○平成29年度厚木市一般会計補正予算（第1号）
【所管科目】

問 合併処理浄化槽普及促進事業について、増額により設置者の負担軽減を図ることだが、何がどのように軽減されるのか。

答 水源環境保全税を基に、補助金額を5人槽で45万円から89万9千円に、7人槽で61万円から117万円に、10人槽で66万円から137万円に増額する。また、これまで本体工事のみを対象としていたが、付帯工事の個人負担相当額の2分の1も補助対象となり、自己負担が軽減される。

都市経済

問 何戸分を予定しているか。

答 設置替え22基と建て替え8基の合計30基で計画している。

問 文化財事業費増額の詳細は。

答 文化財関係で2件申請し、うち1件が採択された。国指定重要無形民俗文化財の相模人形芝居林座の舞台の背景幕や、人形の着物が補助金の対象となっている。

○平成29年度厚木市一般会計補正予算（第1号）
【所管科目】

問 厚木市さくら狩りマップのリニューアルとのことだが、これまでの作成部数と作成した後の残り具合はどうであったか。また、今回は何部作成する予定か。

答 これまで平成23年3月に5千部、24年2月に4千部、29年3月に1千部のほか、あゆコロちゃんバスデーイベントや海老名市・茅ヶ崎市でのゆるキャラのイベントに1千部など、近隣での配布も計画している。

問 今までと違う点は。

答 リニューアルに伴い、マップの折り畳んだ際の大きさを、これまでのA4サイズから半分程度のA5サイズにする予定でいる。なお、掲載する桜については、これまでどおり市内全域の桜を対象とする。

広報広聴特別委員会の報告

第2回会議（6月定例会議）最終日、広報広聴特別委員会の釘丸久子委員長から、付議事件に関する調査研究の報告が行われました。本会議での報告内容などを紹介します。

本特別委員会は、平成27年8月7日の設置以降、付議事件であります「議会の広報広聴活動の推進のための調査研究」について、これまで行政視察を含め14回の委員会を開催してまいりました。

この間、あつぎ市議会だよりの編集や議会報告会の運営方法の検討・協議を行い、議会の広報広聴活動の充実を図ってまいりました。

あつぎ市議会だよりでは、定例会議などの内容を中心に編集を行い、市民の皆さまにより議会に関心を持っていただけるよう、作成してまいりました。

議会報告会は、議会改革の一環として、24年5月から実施しておりますが、現体制では4回開催し、より多くの市民の皆さまに参加していただけるよう、会場となった地域の話題やテーマを設けた意見交換などを実施してきたほか、第8回からは団体を対象として、意見交換に重点を置いた報告会も開催するなど、回を重ねるごとに改善と工夫を行ってまいりました。

このように、継続的に取り組んできたことにより、第1回から延べ34会

場に市民の皆さまなど、1266人の方に参加していただき、開かれた議会の推進に寄与できたものと実感しております。こうしたことから、議

○議会報告会について

・団体対象の報告会については、さらに幅広く実施するため、次の団体等と実施できるよう検討されたい。【厚木市立公民館長連絡会、厚木市民生

委員児童委員協議会、厚木市消防団、厚木市立小中学校PTA連絡協議会、厚木市小中学校長会・教頭会、高校生、厚木市観光協会、スポーツ関係団体、文化芸能関係団体、就労支援事業所等】

・団体対象の内、厚木市自治会連絡協議会とは担当常任委員会を変え、定期的に開催するよう検討されたい。

・市民の声をより幅広く深く受け入れる仕組みづくりとテーマ設定の在り方について検討されたい。

・地域実態に応じた課題を明確にするため、参加者を地域住民を中心にした報告会の開催を検討されたい。また、意見交換の充実・活発化に向け、会場となる地域住民に対

会報告会については、議会における広報活動および広聴活動を同時に行える重要な事項であり、今後も継続して取り組む必要があります。

この点を踏まえ、今後の議会における広報広聴活動のさらなる推進に向け、継続して調査研究に取り組みれることを期待し、次の諸課題を付して、中間報告といたします。

し事前アンケートを実施するとともに、その内容を反映したテーマを設定するなど、参加意識が高まる方策を検討されたい。

・報告内容については、担当常任委員会において事前に確認されたい。また、実施後の反省は早急に行うよう努められたい。

・1回当たりの一般対象・団体対象の会場数は、引き続き検討されたい。

・2月及び9月定例会議終了後、可能な限り早く開催できるよう計画されたい。

・団体対象の報告会については、早急に日程及び相手先を決定するよう検討されたい。

広報広聴特別委員会

委員長 釘丸 久子
副委員長 渡辺 貞雄
委員 望月 真実
高橋 豊
寺岡まゆみ
遠藤 浩一
新川 勉
松田 則康
新井 啓司

市民福祉

○平成29年度厚木市一般会計補正予算（第1号）
【所管科目】

問 （仮称）金田老人憩の家・児童館複合施設の建設予定地における埋蔵文化財は、どのようなものが発掘されたのか。

答 2カ所で試掘調査した結果、奈良・平安時代の住居址や土器などが発掘され、本調査となった。

委員会の所管事項調査

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。このほど実施した4常任委員会の調査は次のとおりです。

◆総務企画常任委員会 5月10・11日、複合施設「たかまつミライエ」について（香川県高松市）



◆市民福祉常任委員会 5月9・10日、障害児者の生活介護および就労支援事業の取り組みについて（広島県尾道市）

◆環境教育常任委員会 5月9・10日、6次産業化の取り組みについて（宮崎県都城市）

◆都市経済常任委員会

5月9・10日、PFI方式による市営住宅の建て替え事業について。空き家対策について（石川県小松市）



友好都市の訪問

市議会では、友好都市の中国揚州市に訪問団を派遣し友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

◆厚木市議会友好都市交流訪問団

4月16日～19日、揚州市人民代表大会表敬訪問、揚州市人民政府表敬訪問、揚州大学訪問など。

本会議の審議結果

第2回会議（6月定例会議）提出案件		各会派などの賛否 ○…賛成、●…反対、□…不在									議決結果
		みらい	公明党	新政	共産党	改革	民進党	無会派A	無会派B	無会派C	
議案第36号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○□	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	固定資産評価員の選任について	○□	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38～40号	人権擁護委員の候補者の推薦について（3件）	○□	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第41号	平成29年度厚木市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」を国に提出することを求める請願	●	●	●	○	●	●	○	●	○	不採択
陳情第3号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第4号	厚木市道の適正な管理・整備及び補修を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第5号	子宮頸がん予防ワクチンの定期接種の中止と検診体制の刷新、接種者全数健康調査を国に対して強く求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	●	●	●	○	○	●	○	不採択
陳情第6号	こどもの森の来年度の約束の運営をNPO化する準備を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第7号	自治会設置の条件緩和を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第8号	民生委員の無委員地をなくすことを求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第9号	非常勤職員の障害者雇用を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
陳情第10号	自立支援（精神通院医療）の推進及び補助、パワーハラスメント被害者の救済を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択
議員提出議案第2号	神奈川県最低賃金改定等に関する意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◎「陳情第11号 北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情」が定例会議最終日の本会議に上程され、総務企画常任委員会に審査が付託されました（9月定例会議で審査予定）。
◎平成29年6月21日議決時の会派構成など
※議長…越智一久（議長は採決に加わりません）、副議長…名切文梨
※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員（　　は代表者）
みらい…あつぎみらい（9）：神子雅人、高橋豊、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、松本樹影、難波達哉（議案第36号から第40号まで不在）、越智一久、沼田幸一、松田則康 公明党…公明党（5）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、山崎由枝、田上祥子 新政…新政あつぎ（5）：石井芳隆、高橋知己、田口孝男、新川勉、新井啓司 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 改革…改革あつぎ（2）：高田浩、井上武 民進党…民進党（2）：望月真実、名切文梨 無会派A…無会派（1）：奈良握 無会派B…無会派（1）：井上敏夫 無会派C…無会派（1）：山本智子

第3回会議の開催予定日

●本会議
8月8日(火) …常任委員の選任など

第4回会議(9月定例会議)の開催予定日

●本会議
9月1日(金) …議案等質疑
9月7日(木)・8日(金)・11日(月) …一般質問
10月6日(金) …委員長報告・討論・採決

●常任委員会
総務企画…① 9月14日(木) ②26日(火)
市民福祉…① 9月15日(金) ②27日(水)
環境教育…① 9月19日(火) ②28日(木)
都市経済…① 9月20日(水) ②29日(金)

会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。

◆特別委員会（本会議など終了後）
厚木市立病院…10月6日(金)
広報広聴………10月6日(金)

※厚木市議会の会期等に関する条例第2条に規定する定例日を開く会議の回数につきましては、暦年での通し回数となっていることから、随時に本会議が開かれることで、回数が繰り下がることがあります。



第10回 議会報告会

市民と議会の
意見交換会を
開催しました



第10回 議会報告会は5月17・21・22・23日の4日間、愛甲公民館などで4回開催。合計で118人の方に参加していただきました。

今回も市民の皆さんが自由に参加できる報告会のほか、各種団体などの役員を対象に意見交換に重点を置いた報告会を実施しました。

今回の報告会では、2月定例会議で議案となった平成29年度予算の概要などを報告。このほか、会場となった地域に関する話題や、各団体が抱えている課題などに対し、参加者と議員の間で意見交換しました。

各会場でいただきましたご意見などは、今後の議会運営の参考にさせていただくとともに、特に重要だと思われる意見は、執行機関に申し伝えました。

5月17日
厚木市交通安全指導員協議会、
厚木市交通安全母の会連絡協議会、
厚木警察署管内安全運転管理者会



5月21日 市民の皆さん



5月22日 厚木商工会議所



5月23日 厚木市子ども会育成連絡協議会